

# あぶしん景況レポート

## 2022年4～6月期

あぶくま信用金庫  
総合企画部

Vol.8 2022.7 発行

### 当地区の概況

#### 【業種別天気図】

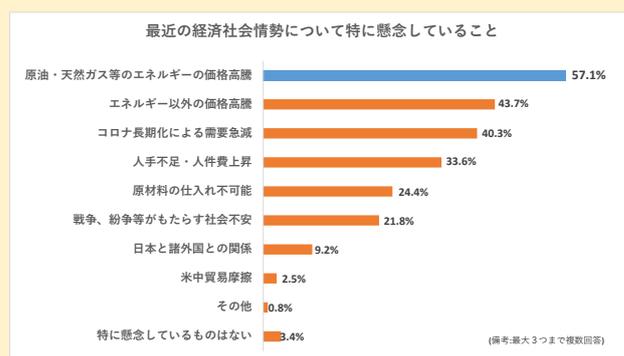
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2022年 1～3月								▲ 30.0
2022年 4～6月								▲ 20.0
2022年 7～9月 (見通し)								▲ 16.7

- 2022年4～6月期(今期)の業況判断D.I.は▲20.0と、前期比10.0ポイントの改善となった。業種別にみると、小売業の今期D.I.は前回D.I.から28.6ポイント改善したが、サービス業の今期D.I.は前回から15ポイント悪化し、過去最低の▲55.0となった。
- 2022年7～9月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲16.7と、今期実績比3.3ポイントの改善を見込んでいる。

### 特別調査 - 最近の経済社会情勢について特に懸念していること -

- 最近の経済社会情勢について特に懸念していることは、「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」が57.1%、「エネルギー以外の価格高騰」が43.7%と、原材料価格上昇に関する回答が多くを占めた。



#### 【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>  
各支店へ!

あぶくま信用金庫  
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを!  
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん  
<http://www.abukuma.co.jp/>



## 製造業

### 業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	15.0	65.0	10.0	10.0	▲ 5.0
	実績	0.0	20.0	40.0	35.0	5.0	▲ 20.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	15.0	55.0	20.0	10.0	▲ 15.0

今期の業況判断D. I. は、前期(実績)と同様の▲20.0となった。前回同様、原材料費高騰の声が多く聞こえたほか、コロナ長期化による需要の急減、コロナや戦争等により仕入れが左右され売上が安定しないとの声も聞かれた。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 原材料高	55.0%	55.0%
2 人手不足	35.0%	30.0%
3 利幅の縮小	30.0%	45.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	55.0%	55.0%
1 経費を節減する	55.0%	45.0%
3 人材を確保する	35.0%	35.0%

## 卸売業

### 業況判断D. I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	16.7	33.3	38.9	11.1	▲ 33.3
	実績	5.6	11.1	44.4	22.2	16.7	▲ 22.2
来期 (7-9月)	予想	0.0	16.7	27.8	33.3	22.2	▲ 38.9

業況判断D. I. は、前期(実績)より11.1ポイント改善し、今期(実績)▲22.2となった。経営課題で「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」と回答した先は減少したものの、来期D. I. は16.7ポイントの悪化が予想される。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	44.4%	61.1%
1 同業者間の競争の激化	44.4%	33.3%
3 利幅の縮小	33.3%	55.6%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	66.7%	77.8%
2 経費を節減する	50.0%	44.4%
3 情報力を強化する	27.8%	50.0%

## 小売業

### 業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	9.5	33.3	47.6	9.5	▲ 47.6
	実績	0.0	23.8	28.6	33.3	14.3	▲ 23.8
来期 (7-9月)	予想	0.0	9.5	57.1	23.8	9.5	▲ 23.8

業況判断D. I. は、前期(実績)より28.6ポイント改善し、今期(実績)▲23.8となった。一方、経営課題で「商圏人口の減少」、重点経営施策で「仕入先を開拓・選別する」の割合が急上昇しており、来期への影響が懸念される。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	47.6%	47.6%
2 利幅の縮小	42.9%	33.3%
3 人手不足	33.3%	28.6%
3 商圏人口の減少	33.3%	4.8%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	42.9%	47.6%
2 人材を確保する	28.6%	23.8%
2 品揃えを改善する	28.6%	14.3%
2 仕入先を開拓・選別する	28.6%	9.5%

## サービス業

### 業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	60.0	15.0	15.0	▲ 20.0
	実績	0.0	10.0	25.0	50.0	15.0	▲ 55.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	5.0	55.0	40.0	0.0	▲ 35.0

業況判断 D.I. は、R3 年 7 月期から悪化し続けており、今期(実績)は調査開始以来最低の▲55.0 となった。材料価格判断 D.I. では、6 割(12 先)が上昇したと回答した。一方、料金価格を上げたと回答した先はゼロであった。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	65.0%	65.0%
2 材料価格の上昇	45.0%	35.0%
2 利幅の縮小	45.0%	25.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	50.0%	50.0%
2 宣伝・広告を強化する	45.0%	30.0%
3 販路を広げる	35.0%	60.0%
3 人材を確保する	35.0%	30.0%

## 建設業

### 業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	9.5	9.5	33.3	38.1	9.5	▲ 28.6
	実績	4.8	14.3	42.9	38.1	0.0	▲ 19.0
来期 (7-9月)	予想	4.8	23.8	52.4	14.3	4.8	9.5

業況判断 D.I. は、前期(実績)より 9.6 ポイント改善し、今期(実績)▲19.0 となった。経営課題として「材料価格の上昇」の割合は高まっているが、一部から「資材は高騰しているが受注は良い」との声も聞こえている。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 材料価格の上昇	52.4%	38.1%
2 売上の停滞・減少	47.6%	47.6%
3 人手不足	42.9%	42.9%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	66.7%	57.1%
2 人材を確保する	57.1%	52.4%
3 技術力を高める	42.9%	33.3%

## 不動産業

### 業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (4-6月)	予想	5.0	5.0	80.0	5.0	5.0	0.0
	実績	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	15.0	70.0	10.0	5.0	0.0

今期業況判断 D.I. は 20.0 と、調査開始以降初めてプラス指標となった。他業種に比べコロナの影響は少ないが、今回の特別調査にあった最近の経済社会情勢で懸念していることに「原油・天然ガスなどのエネルギー価格高騰」を上げた割合は、他業種と同程度の 45.0%であった。

### ○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 同業者間の競争の激化	30.0%	30.0%
2 利幅の縮小	20.0%	20.0%
3 売上の停滞・減少	15.0%	25.0%

### ○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 情報力を強化する	35.0%	45.0%
2 経費を節減する	20.0%	25.0%
2 販路を広げる	20.0%	15.0%
2 宣伝・広告を強化する	20.0%	10.0%

## 全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数: 13,770社

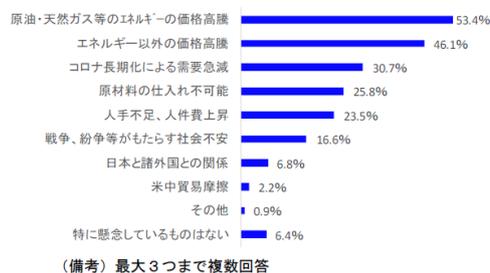
		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2022年 1~3月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 27.6
	2022年 4~6月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 19.9
	2022年 7~9月 (見通し)	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 18.9
東北	2022年 4~6月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 27.1

- 全国の2022年4~6月期（今期）の業況判断D.Iは▲19.9、前期比7.7ポイント改善と、2四半期ぶりに改善した。2022年7~9月期（来期）の予想業況判断D.Iは▲18.9と、今期実績比1.0ポイントの小幅改善を見込んでいる。
- 東北地区の2022年4~6月期（今期）の業況判断D.Iは▲27.1と、前期比9.4ポイント改善した。2022年7~9月期（来期）の予想業況判断D.Iは▲27.0と、今期実績比横ばいを見込んでいる。

## 特別調査 - 原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について -

- 最近の経済社会情勢について特に懸念していることは、「原油・天然ガスなどのエネルギーの価格高騰」が53.4%、「エネルギー以外の価格高騰」が46.1%と、原材料価格上昇に関する回答が多くを占めた。
- すべての業種と規模階層で原材料価格上昇に関する選択肢に回答が集まっており、原材料価格上昇への懸念は、中小企業全体に共通するものであるといえよう。

最近の経済社会情勢について特に懸念していること



### 全国の調査員からのコメント

- 円安、ウクライナ情勢、中国のロックダウンにより、輸入建材が軒並み値上がりしている。(配管建材卸 北海道)
- 県民割の補助対象地域が拡大されたことから、土産品の需要増加が見込まれる。(菓子製造 長野県)
- 事業再構築補助金を活用し最新のレーザー加工機の増設を図る。(金属プレス、静岡県)

### 【調査要領】

1. 調査時期 2022年6月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。